

## CONTENTS

- 特別寄稿  
ファンダメンタル嚥下医学のすすめ  ..... 梅崎俊郎 141
- メディカルスタッフのための疾患講座  
進行性核上性麻痺 (PSP) の嚥下障害 ..... 國枝顕二郎, 藤島一郎 152
- 私の治療方針  
誤嚥性肺炎反復後の高齢嚥下障害症例  
症例提示  ..... 大野 綾, 藤島一郎 157  
耳鼻咽喉科医の立場から ..... 平野 愛 159  
脳神経内科医の立場から ..... 栗田尚英, 卜部貴夫 161  
言語聴覚士の立場から ..... 森 隆志 163  
実際に行った治療と経過  ..... 大野 綾, 藤島一郎 166
- 私の術式  
喉頭中央部切除術変法  
加藤健吾の術式  ..... 加藤健吾 169
- 知っておきたい嚥下訓練  
直接訓練時の姿勢の調節法 ..... 柴本 勇 173
- 嚥下機能の評価法の検証  
口腔アセスメントシート OHAT (Oral Health Assessment tool) ..... 松尾浩一郎 180
- ベーシックサイエンス  
咽頭壁ならびに食道上部の筋線維の走行についての再検討  
—縦走筋の多様な役割— ..... 秋田恵一, 吹野恵子 185
- 1枚の写真  ..... 唐帆健浩, 他 193
- 書評  
『誤嚥性肺炎の主治医力』 ..... 出江紳一 192  
『脳卒中治療ガイドライン 2021』 ..... 谷口 洋 195

## New! 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行期における嚥下障害診療への注意喚起

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止には各方面より様々な対策が講じられているが、残念ながら収束の兆しは未だ見えていない。このウイルスは主として飛沫・接触によって伝播するとされ、感染者の体内でもウイルス量が多いのは鼻腔・咽頭（上気道）である。また、エアロゾルを介した感染も報告されている。嚥下障害診療において、上気道粘膜との接触を伴う嚥下訓練や喀痰吸引、内視鏡下嚥下機能検査などの医療行為は咳嗽などの気道防御反射を誘発し、感染リスクの最も高いエアロゾル発生手技に相当する。

**日本嚥下医学会は、COVID-19 流行が生じている地域では、嚥下障害診療に携わるすべての医療者が、診療行為に応じた感染リスクに対して最大限に注意を払い、感染経路別予防策を適正に遵守することを推奨する。**

日本嚥下医学会（令和2年11月20日改訂）

### 原著 論文

- 内視鏡下咽喉頭手術（ELPS）術後の嚥下機能と  
リハビリテーションについての検討 …………… 大津 舞, 他 196
- 要支援高齢者におけるオトガイ舌骨筋と  
身体機能・嚥下機能・栄養状態の関連性  
—超音波診断装置を用いた検討— …………… 平田 文, 他 203
- 干渉波頸部刺激による嚥下障害症例への  
即時的あるいは短期的効果についての検討 …………… 鈴木智陽, 他 214
- 福島県に勤務する耳鼻咽喉科医を対象とした  
嚥下障害診療に関するアンケート調査 …………… 今泉光雅, 室野重之 220
- 頭頸部癌化学放射線療法中の摂食嚥下機能と  
栄養状態の推移 …………… 立山香織, 他 229

会告—— 137

日本嚥下医学会嚥下機能評価研修会のご案内—— 137

動画サイトのご案内—— 140

日本嚥下医学会の認定する嚥下相談医等制度について—— 237

投稿規定—— 239

バックナンバー—— 244

日本嚥下医学会入会申込書—— 246

日本嚥下医学会変更届—— 247

購読申込書—— 248

 : 動画配信付き